

普及活動情勢報告（平成28年3月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

キュウリ産地の育成のために・・・キュウリ現地検討会・・・



3月4日、黒潮町と土佐清水市でキュウリの品目別現地検討会を開催し、生産者及び関係機関併せて32名が参加しました。

農業改良普及課からは、品種試験や炭酸ガス施用ほ場の生育収量調査の途中経過を報告しました。

他産地の生産者や指導員との意見交換ができ、生産者からは「自分のほ場と比較でき良かった」との声も聞けました。また、炭酸ガス施用をはじめとする環境制御技術に興味を示す生産者も見受けられました。

今後も生育調査の結果等を活用して環境制御技術を普及していくとともに、生産者の栽培状況と品種の動向把握に努めていきます。

集落営農法人を育てよう！・・・(農)入田村・(農)小川アグリ定期総会・・・



2月21日に(農)入田村、2月24日に(農)小川アグリ
の定期総会が各集会所で開催されました。

総会では平成27年度の活動報告、収支決算案と平成28年度活動計画、収支予算案が承認されました。(農)入田村では、基盤整備に合わせた農地集積と露地野菜栽培の拡大、(農)小川アグリでは、主食用米と飼料用米の規模拡大に取り組む計画となっています。

農業改良普及課では、両法人の経営計画達成に向けて、作物栽培と経営管理の取り組みを支援していきます。

集落営農組織で協業経営を目指そう・・・集落営農組織連絡協議会・・・



3月15日、四万十市中村地区の集落営農組織連絡協議会が四万十市役所で開催され、5組織10名の参加がありました。

市役所からは協議会活動の実績と計画、農業改良普及課は県補助事業や他地区で園芸品目に取り組んでいる集落営農組織の事例紹介を行いました。

園芸品目や農地貸借について活発な意見交換を行い、次回は、取り組んでいる園芸品目を紹介し、協業経営について勉強することになりました。

農業改良普及課は、協業経営の取り組みを支援していきます。

四万十川の100年ぶしゅかんを永遠に・・・ぶしゅかんの接ぎ木指導・・・



3月22日、四万十市佐田で、四万十屋(株)の従業員等を対象に接ぎ木の講習会を開催しました。ぶしゅかんは四万十市で推進する特産柑橘で、市・県・国から各種事業を取り込んで生産振興しています。ぶしゅかんの加工と販売は四万十屋(株)で行っており、需用に見合う生産量を満たすため、自社栽培も始めています。また、今回、接ぎ木した穂木は四万十市にある樹齢100年とされる貴重なぶしゅかんで、四万十川のネームバリューと共にさらに付加価値を高めるための起爆剤として期待されています。

農業改良普及課は、今後も講習会等を通じて栽培の支援を続けます。

イチゴの品質を向上させよう！・・・西土佐支所イチゴ部会目慣らし会・・・



3月15日に、JA高知はた西土佐支所において西土佐イチゴ部会目慣らし会が開催されました。生産者、関係機関延べ10名が参加し、過熟果対策や等階級毎の価格設定等について検討しました。

農業改良普及課からは、4戸で行った汁液分析結果を報告しました。生産者や時期によって汁液濃度に差があったため、「3、4月にも引き続き調査をしてはどうか」「糖度も同時に調査してほしい」との意見がありました。

今後は、施肥実績も併せて全6戸で汁液・糖度調査を行い、生産者の栽培技術の向上を支援していきます。

イチゴの新天敵アカメガシワクダアザミウマ・・・宿毛支所イチゴ部会・・・



3月9日から、イチゴの新天敵昆虫である「アカメガシワクダアザミウマ」(以後アカメ)の実証試験を、JA高知はた宿毛支所イチゴ部会にて実施しています。

アカメは、イチゴの果実に被害を及ぼす、ヒラズハナアザミウマ(以後ヒラズ)防除を目的として使用されます。3月9日に1回目の放飼、3月24日に2回目の放飼を行いました。3月24日には、部会員6名が試験ほ場に集まり、アカメの特徴や放飼方法の説明を受けた後、実際の放飼方法を学びました。

農業改良普及課は、生産者及び関係機関と協力して、防除効果の検討を行います。

若い力で地域農業を盛り上げよう！・・・西土佐地区若い農業者の集い・・・



3月7日、JA高知はた西土佐支所で、西土佐地区の若い農業者及び西土佐4Hクラブ、宿毛4Hクラブは合同研修会及び交流会を開催しました。会には関係機関を含む約40名の参加がありました。

農業改良普及課からは、病害対策や農薬の適切な使用方法等について説明しました。

参加者からは「展着剤の利用について理解が深まった」、「自分の農薬散布の仕方について見直す機会になった」等の声がありました。

農業改良普及課は、地域の若い農業者の交流促進を支援していきます。

子ども達に農業を知ってもらいたい！・・・宿毛4Hクラブ出張畑作り・・・



3月10日、平田小学校において、5年生15名を対象に宿毛4Hクラブは出張畑作りを行いました。今年度から新たに始めたこの活動では、クラブ員の3人が講師となり、土作りの大切さや畝の立て方を子ども達に教えました。4月にはここにジャガイモを定植する予定となっています。

子ども達からは、「機械を実際に動かさせてもらえて面白かった」「ジャガイモを植えるのが楽しみ」等の声があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、4Hクラブの活動を支援していきます。